



# Pegasus News

Vol. 36

## ペガサスニュース

発行人 馬場武彦  
発行 医療法人ペガサス  
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244  
http://www.pegasus.or.jp/  
編集 ペガサス広報委員会 編集グループ  
編集協力 HIPコーポレーション

### 医療法人ペガサス 外来診療のご案内

平成20年8月1日現在

#### HEADLINE

「いま」と「将来」を見つめて  
ペガサスでは昨年度に年一回の「医療体験デー」を開催してきました。この催しは患者さまをはじめご家族や地域の皆さまに、医療およびペガサスを、もっと知っていただき身近に感じていただくことを目的としてきました。その「医療体験デー」を今年4月より大幅にリニューアル！「毎日が医療体験デー」と銘打ち、年間を通じてご希望の方は「いつでも」お迎えすることにしました。その理由は二つあります。一つ目は、皆さまに日々刻々と変化する医療、そしてペガサスを知っていただくためには、一年に一度ではとても足りないという思い。二つ目は、将来医療職を目指している皆さま、あるいは医療職に興味のある皆さまに、少しでも多く医療の現場を自分の目で見て、体験していただきたいという思い。この二つの思いが、「毎日が医療体験デー」をはじめること、いわば「いま」と「将来」を見つめて、皆さまをお迎えすることになりました。



馬場記念病院 人事課 担当/川泉 072-2665-9089 (直)

#### 「いま」と「将来」を見つめて

#### 生きた情報をご提供します

#### 8名の脳神経外科医師が、あらゆる疾患に対応

#### 迅速で、安全、確実な治療をご提供

Report \*1  
「毎日が医療体験デー」を始めました。

Report \*2  
脳神経外科の外来診療を1診増設！さらに充実した体制が整いました。

「毎日が医療体験デー」の基本プログラムは1時間程度の馬場記念病院内の見学と、あわせて看護部をはじめとする各部門での1時間程度の体験となります。また、事前に打ち合わせをさせていただきます。ご希望に沿った見学・体験にも対応いたします。医療現場の生の姿を、また各医療専門職の業務を見て、肌で感じていただき、医療およびペガサスの「いま」を少しでもご理解いただければと思います。どうぞお気軽に、そしていつでも、ペガサスにお越しください。職員一同、心からお待ちしております。

馬場記念病院では、脳神経外科の外来診療を、この5月より3診から4診に増設しました。これは、当院と協力関係にある大学医局から、医師の派遣数が増えたことによりです。結果、現在では脳神経外科医師は8名となり、頭部外傷や神経系の腫瘍、脳血管閉塞性疾患、そして、出血性疾患、感染性疾患から、脊髄・脊髄の疾患など、中枢神経のあらゆる疾患を扱う診療科として、これまでよりさらに多くの患者さまに、対応できる体制となりました。

ご承知のとおり、脳神経外科は、緊急性が高く生命に関わる疾患が多くあります。さらに、いつも合併症や後遺症の発生と隣り合わせ、ともいえる診療科です。そのため、当院脳神経外科では、こうしたリスクをいかに少なくするかをめざし、最新の情報を常に取り入れ、日々進化する設備・テクニックで対応しています。

馬場記念病院  
理事長 院長 馬場 武彦

診療時間	診療科	月	火	水	木	金	土	
馬場記念病院 午前診 9:00~ 受付 8:30~12:00	内科 循環器科	1診	平山道彦 (循環器)	坂本常守 (循環器)	難波雅司 (循環器)	周藤弥生 (糖尿病)	坂本常守 (循環器)	田口晴之/島田健永 第1・3・5週/第2・4週 (ともに循環器)
		2診		宇治正人 (呼吸器)	周藤弥生 (糖尿病)	児玉豊城 (呼吸器)		若山公作 (呼吸器)
	外科 消化器科	外・消1診	寺岡 均	新田敦範	玉森 豊	寺岡 均	新田敦範	山添定明 第1・3週
		外・消2診	原 順一	渋谷雅常	真下勝行	玉森 豊	堀田 潔	大平雅一 第2・4・5週
		外・消3診		河内屋友宏		原 順一		
	脳神経 外科	脳外科1診	宇野淳二	伊飼美明	魏 秀復	宇野淳二	魏 秀復	交替制
		脳外科2診	伊野波 諭	馬場武彦	伊野波 諭	長岡慎太郎	伊飼美明	
		脳外科3診	藤本基秋	甲斐康稔	藤本基秋	前田一史	甲斐康稔	
		脳外科4診	前田一史					
	(脳)神経 内科	(脳)神経内科1診	高橋光雄	北口正孝	峯田春之	北口正孝	平賀定一	交替制
		(脳)神経内科2診	中谷芳美	千本裕子	桑原 基	楠 進/原 秀憲 第1・3週/第2・4・5週	長谷川隆典	
	整形外科	整形外科1診	本田良宣	山本 研	楊 裕健	吉田 映	楊 裕健	交替制
整形外科2診		篠塚宗徹	山北真也	篠塚宗徹	山本 研	山北真也	交替制	
整形外科3診			吉田 映	岡垣健太郎	岡本充弘	三木慎也		
形成外科		山本喜英	山本喜英			山本喜英	山本喜英/矢野 基 交替制	
午後診 14:00~ 受付 13:00~15:00	内科			北田拓也 (肝臓病)	瓦林孝彦 (心臓)			
	(脳)神経内科		濱田千雅 (糖尿病)		玉垣芳則 (在宅酸素)			
				北口正孝		北口正孝		
	整形外科		岡垣健太郎 (関節の外来)	岡垣健太郎 (関節の外来)				
泌尿器科			松本成史		花井 禎(予約検査) 梅川 徹(診察のみ)	堀川重樹		
馬場病院 午前診 9:00~12:00 受付 8:30~12:00	内科	中林孝之	久保俊彰	中林孝之	中林孝之	久保俊彰	中林孝之	
	外科	担当医	本田良宣 <整形外科>	久保俊彰<外科> 担当医<外科>	山本喜英 <外科>	北口正孝 <(脳)神経内科>	中林孝之 <内科外来にて>	
午後診 15:00~18:00 受付 14:30~18:00	内科/外科 <内科外来にて>	中林孝之 <内科>	久保俊彰 <内科>	久保俊彰 <内科>	中林孝之 <内科>	久保俊彰 <内科>		
	ペガサスクリニック 午前診 9:00~12:00 受付 8:30~12:00	1診	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德 第1・3・5週 矢野 基 第2・4週
	2診	宇治義正	戸田千綾	宇治義正	宇治義正	宇治義正	岡本隆司 第1・3週 田中秀典 第2・4・5週	
	3診		担当医					
夜診 18:00~19:00 受付 17:30~19:00	1診	永田安德	宇治義正	宇治義正	宇治義正	担当医		
	2診	担当医	矢野 基	担当医	担当医	永田安德		



馬場病院からの  
お知らせ

桜は、  
今年も美しく  
咲き誇っていました。



桜が咲き誇った4月上旬、馬場病院では、入院患者さまを対象に病院近くの公園で毎年恒例のお花見を実施しました。当日は春の陽気も暖かく、患者さまの笑顔は一層、華やか。今後も当院では、季節を感じていただける行事を通して、患者さまの笑顔を増やしていきたいと思ひます。

日本人の乳がん罹患率上昇中。

年に一度はぜひ乳がん検診を！

乳がんの早期発見には、マンモグラフィー（乳房X線撮影）が有効です。乳房を挟む形で撮影するため、「痛いのでは？」という印象をお持ちの方が多くいますが、当院では撮影方法を含め、検査の前に放射線技師が丁寧に説明。不安や疑問なく検査を受けていただけます。お仕事をされている方のために、毎週金曜日は夕方も実施しています。（臨床放射線部）

老化現象？ それとも認知症？

認知症ドックで確かめてみませんか？

人の名前など忘れや、あとで「しまった」と思い出す物忘れ、これらは「年のせい」です。しかし、あとになってもまったく思い出せない物忘れや、日常生活の動作が難しくなるようなことがあれば、それは認知症かもしれません。「あれ？」と思ったら、まずは検査を受けましょう。認知症ドックでは脳の画像検査（SPECTやMRI）、記憶や判断力を調べる認知機能テスト、院長（脳神経外科医）の診察により、診断を行います。たとえ認知症であっても、早期に適切な治療を受けることで、症状が改善したり、進行を遅らせることができます。（健診室）

8月のベガスセミナーは、

知って安心 ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品は有効性分の特許が切れた新薬と同じ主成分を含んだ医薬品です。薬価が安いので患者様の経済的な負担が少なくて済みます。ジェネリック医薬品について、薬剤師が詳しくご説明いたします。日時：8月26日 午後2時～3時 場所：馬場記念病院 1階ロビー（地域医療支援室）

HOT NEWS

看護部からの  
ホットニュース



より高度な看護の提供をめざし、  
認定看護師資格取得に挑戦中！

今、看護の領域では、ある特定分野を専門にした「認定看護師」という資格者が増えつつあります。看護師の実務経験が5年以上あり、600時間にわたる規定の研修を受け、さらに認定審査に合格して初めて得られる日本看護協会認定資格です。ベガスでは、この4月から馬場記念病院の看護師長・山崎知美が、皮膚・排泄ケアの認定看護師をめざし挑戦中。「看護の質を上げ、患者さまにとってもっと良いベガスになるために」という山崎に、皆さまどうぞご期待ください。

法人本部からお伝えしたいことがあります。

医療への熱い思いを胸に、  
今年も新しい職員が誕生しました。

4月1日から3日まで、医療法人ベガスの入職式・新入職員研修を開催しました。第一日目は、理事長の馬場武彦が辞令を交付するとともに、法人の運営方針を説明。新入職者に自覚を促しました。二日目から三日目にかけては、西堺警察署生活安全課防犯係長・梶本警部補の、患者さまの安全を守るために生活事犯への対処の講義と、同署柔道師範・大石先生から護身術の指導。また、法人本部企画運営局長の田中恭子による、昨今の医療情勢とベガスの規則についての説明。さら



に、馬場記念病院救急部長の宇野淳二が講師を務めた心肺蘇生法講習会、副院長の西尾俊嗣による医療事故防止など。盛り沢山の講義を行いました。その後はグループワークを実施。新入職者が異なる職種の間で、「医療人としての1年後」について議論し、最後に、これから皆さまにどのよう役立っていかかの決意を發表しました。医療人として、一歩を踏み出したばかりの新入職員たち。患者さま、そしてご家族の皆さまには、どうぞ厳しく温かい目で見守りくださいますようお願いいたします。

Special

馬場記念病院 最前線

シリーズ  
01

脳神経外科

脳梗塞の最新治療薬「t-PA」。  
厳しい使用条件のなか、  
当院では治療が可能です。

社会復帰率が  
従来の15倍

t-PA（組織性プラスミノゲン活性化因子）とは、2005年10月に日本で承認された脳梗塞の治療薬です。国内の臨床試験（治験）では、脳梗塞発症後の3時間以内にt-PAを投与した場合、3カ月後に、ほとんど後遺症なく社会復帰できた割合が37%。これは従来に比べおよそ1.5倍の数字です。当院脳神経外科では、この！



使用には厳しい  
条件付き

PAによる治療を、2006年から開始しています。脳梗塞は、動脈硬化によって脳の動脈が狭くなったり、また、血の固まりである血栓などが、脳の動脈で詰まることで起こされる疾患です。病状は急激に悪化するため、血流をいかに早く再開させるかが、治療では大きな鍵となります。t-PAは、血流を止めている血栓などを溶かす薬。最初に定められた量の10%を静脈内に投与し、残りを1時間かけて点滴により投与します。

この副作用のリスクが5%あります。そのため使用に際しては、厳しい条件があります。具体的には、投与は脳梗塞発症後3時間以内（超急性期）。頭蓋内出血の既往歴が無い。また、3カ月以内に脳梗塞を患っていない。そして、広範な脳梗塞のCT早期所見がないなどです。

迅速・安全・確実に

使用条件に加え、施設基準もありません。CT・MRI検査が24時間対応可能。急性期脳卒中に対する十分な知識・経験を有する医師がいる。SUカそれに準ずる病棟がある。実施担当者は、日本脳卒中学会承認のt-PA薬使用講習会受講の証明を取得している…。当院脳神経外科は、このすべてを満たしているのはもちろん、医師をはじめ医療スタッフによるチームを編成。早期所見、高度画像診断、投与、そしてその後の全身管理まで、超急性期治療を迅速で安全、確実に提供できるよう努めています。

しっかり丁寧に  
情報交換

ご紹介したように、t-PAは、投与には慎重な判断を必要とします。こうした内容を、当院脳神経外科では、患者さま、ご家族の方々にきちんとご説明をします。また、こちらからも患者さまの情報をしっかりと確認します。一刻を争う厳しい状況下での話し合いですが、ご理解のうえ、ご協力ください。

馬場記念病院  
副院長 脳神経外科部長 魏秀復

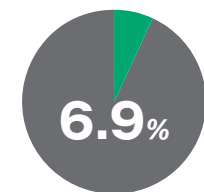
脳梗塞、  
より早い発見と治療が大切。

脳梗塞治療は、最初の3時間が重要。次の「主な初期症状」を参考に、ご自分の、また、ご家族の様子が少しでも該当するときは、すぐ病院に行かれることをお勧めします。

脳梗塞の主な初期症状

- めまい、耳鳴り、立ちくらみがする
- ふらつき、歩けな
- 半身の動きが急に悪くなる
- 片方の目が見えにくい、視野が狭くなる
- 意識がなくなる
- ひどい頭痛がする
- ろれつが回らない
- 突然、話すことができず、相手の話も理解できない

平成18年度死亡総数  
に見る脳梗塞の割合



厚生労働省人口動態調査から

